

施策番号	1404		
施策名	生活しやすい社会環境の整備		
概要	ユニバーサルデザインを総合的に推進することにより、すべての人が個人として尊重され、その能力を最大限に発揮し、社会参加できる社会環境を整備する。		
担当局・部室	保健福祉局・障害保健福祉推進室	共管局・部室	都市計画局・建築指導部
上位政策	14 障害者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市みやこユニバーサルデザイン推進指針		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	市民向け印刷物の情報保障配慮率（％）	c	b	81.5	91.0	94.4	96.4%	b	1.00
2	バリアフリー優良建築物の件数（件）	a	a	538	542	500	108.4%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		b	a					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	バリアフリー（高齢者や障害のあるひとが社会生活をしていくうえでの障壁（バリア）を除去し、ハンディキャップなく生活できるようにすること）などの生活しやすい社会環境の整備が進み、暮らしやすいまちになっている。	c	c	27	234	238	121	58	678	-
				4.0%	34.5%	35.1%	17.8%	8.6%		
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		c	c							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	C	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☐ 客観指標	ユニバーサルデザインの視点に基づく社会環境を整備することにより、全ての市民が生活しやすくなることが重要であり、その度合いを図る市民生活実感調査の方に重みを置く。				
	☒ 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。
・社会全体におけるバリアフリーの整備が十分に進んでいるとは言えない状況にあることから、「どちらも言えない」とする回答が最も多くなっており、c評価で推移していると考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1	発達障害児者地域支援サポート事業	0	19,811	－	保健福祉局
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・みやこユニバーサルデザイン推進主任連絡会議の開催や職員研修を通じて、庁内の各事務事業におけるユニバーサルデザインの取組を一層推進し、市民向け印刷物の情報保障配慮をはじめとした生活しやすい社会環境を整備していく。
- ・また、人にやさしいサービス宣言、みやこユニバーサルデザイン賞、ユニバーサル上映補助、ユニバーサルデザイン消費者啓発等の取組や積極的な情報発信を通じて、広く市民にユニバーサルデザインが普及するよう積極的な情報発信等に取り組む。
- ・さらに、みやこユニバーサルデザイン優良建築物顕彰制度等の取組により、引き続き、ひとにやさしい建築物の普及啓発を図る。

施策名	1404	生活しやすい社会環境の整備				
-----	------	---------------	--	--	--	--

指標名	市民向け印刷物の情報保障配慮率（％）					
-----	--------------------	--	--	--	--	--

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	2 2 2－4 1 6 1		
-----	-----------	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

本市が発行する市民向けのパンフレット、リーフレット等における情報保障の配慮がされている割合

2 指標の意味

障害のある方もない方も同様に合理的な配慮がなされ、生活しやすい社会環境が整備されている進捗を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：各局区等から10,000部以上発行している広報印刷物において、配色の工夫や外国語、点字版の作成等の対象者に応じた何らかの配慮を行った件数の割合（年度末に確認した実績に基づく。）
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	81.5	91	9.5ポイント増	94.4	令和2年度末までに100%の目標達成のために当該年度達成すべき数値（累計）（毎年度5.6%増）	96.4%

	全国順位	中長期目標				備考
	数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	-	100	令和2年度	91.0%	京プラン実施計画 第2ステージ	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成状況が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

京プラン実施計画第2ステージに掲げた各年度に達成すべき目標値100%に対する達成状況について、100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
c	b	b

指標名	バリアフリー優良建築物の件数（件）					
-----	-------------------	--	--	--	--	--

担当課	建築審査課	連絡先	2 2 2－3 6 1 6		
-----	-------	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

バリアフリー化された建築物（施設）の件数

2 指標の意味

「ひとにやさしいまち」に向けた進み具合を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例に基づく検査済証交付件数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	538	542	4件増	500	過去の建築確認申請の動向等から、条例対象となる建築物の件数を推計	108.4%

	全国順位	中長期目標				備考
	数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	-	500	令和2年度	108.4%	・過去の建築確認申請の動向等から、条例対象となる建築物の件数を推計	平成23年度 357件 平成24年度 434件 平成25年度 497件 平成26年度 498件 平成27年度 402件 平成28年度 506件 平成29年度 595件 平成30年度 538件 令和元年度 542件 平均 485件

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：90%以上
b：80%以上90%未満
c：70%以上80%未満
d：60%以上70%未満
e：60%未満

6 基準説明

これまでのバリアフリー条例に基づく検査済証交付件数の推移を基に、評価基準を設定。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	a	a